

第4次総合計画改訂版素案に対する意見（第3回審議会・部会 R5.6開催（全体分））への回答

第4回総計部会	
資料5	R5.7

No.	委員意見		所管室課意見・修正案	所管室課名
	該当箇所	意見		
1	全体	<p>多くの見直しの背景として、新型コロナウイルス感染症拡大の影響があるかと思うが、5月8日に感染症法の位置づけが2類相当から5類相当に移行している。これまでは、感染症対策は法律に基づき行政が粛々と取り組む必要があったが、今、自主的な取組に変わってくるという状況の中で、落としどころをどうするか。新型コロナウイルス感染症を踏まえてやっていた対策についても変化を余儀なくされると思う。</p> <p>そうすると、この数年間は確かに必要だった取組をどうするかは皆さんで共有しておいた方がいいのではないか。財政状況も悪化しているため、改めて整理が必要であると思う。</p>	<p>第3回審議会資料3「第4次総合計画基本計画改訂版 見直し箇所一覧（策定後の主な動向別）」の3ページにまとめてありますとおり、「現状と課題」には各大綱でコロナ禍の影響を受けた現状について触れていますが、施策において大きく変更した点はございません。</p> <p>コロナ禍の影響で実施困難となり、別の指標を追加で設定した指標は3点ありますが、アフターコロナの状況も見ながら、今後5年間、施策の進捗を適切に測れるよう、現行の施策指標に加えて設定したいと考えています。</p>	企画財政室

No.	委員意見		所管室課意見・修正案	所管室課名
	該当箇所	意見		
2	策定後の 主な動向	SDGsの説明に「持続可能な」という言葉を入れた方がよい。	<p>ご意見を受け、素案p.3の「（５）SDGsの取組の推進」に以下のとおり追記します。</p> <p><修正案></p> <p>2030年を目標年として国際社会全体で取組を進めるSDGs（持続可能な開発目標）の実現のためには、経済、社会、環境の３側面における統合的な取組とともに、行政、民間事業者、市民等の多様な主体による積極的な取組が必要です。SDGsの理念や考え方を実際の政策に結び付け、誰一人として取り残さない社会の実現に向けて実行していくことが求められています。</p>	企画財政室
3	SDGsと政策の 関係一覧	<p>SDGsと各政策との整理について、具体的なイメージが分からない。どう扱ったらよいのかと思った。17のゴールの169のターゲットの中に、社会、経済、環境の３本の柱があるということ意識した方がよい。</p> <p>【第3回部会】</p> <p>169のターゲットレベルで総合計画を確認した結果をどのように活かしていくか。いくつかアイデアがある。</p> <p>今回の計画のPDCAサイクルのどこでこのデータを活かしていくか、現段階では「評価（チェック）」に活かしていくのがいいのではと思う。自発的自治体レビューとも言われているが、自発的にチェック項目を設けているという意味で価値が高い。もし可能であれば今回の大綱8綱の評価の下に、SDGsの観点で吹田市が世界の期待に応えられているかを国家レビューのように入れてみるのもいいかと思った。また、SDGsの位置づけというところでは、素案の5ページに、SDGsの観点で国際的期待に応えられるかという考え方を足すのもいいのではと思う。国際標準、国際的な期待に対してもしっかり評価したということでもいいのではと思う。</p>	<p>ご意見を受け、素案p.5「（２）Check（評価）の考え方」に以下のとおり追記します。</p> <p><修正案></p> <p>（2）Check（評価）の考え方</p> <p><u>なお、SDGsのゴールと第4次総合計画に掲げる19の政策との関連を常に意識しながら、取組を推進することとします。</u></p> <p><u>（SDGs）</u></p> <p><u>● SDGsは、17のゴール・169のターゲットから構成されています。ターゲットは、ゴールを達成するための具体的目標であり、ターゲットごとに第4次総合計画の各政策との関連についてバックカスティングの視点で整理を行っています。</u></p>	企画財政室